

(件名) 75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を2割にしないことを国に求める  
意見書提出について

(陳情の要旨)

75歳以上で一定所得以上の人の医療費窓口負担（原則1割）が、2022年10月以降に2割に引き上げることが予定されています。国は「現役世代と負担を公平化する」ことを名目に、75歳以上の医療費窓口負担2割化を提案しています。しかし、1割負担の現在でも後期高齢者の年収に占める医療費窓口負担は現役世代の1.7倍と高く、現在でも医療費の窓口負担が重いことを理由に、受診を控える人は後を絶ちません。このまま2割負担に引き上げれば、高齢者の受診控えはさらに広がり、重度化・重篤化による医療費の増大を招くとともに、手遅れによって亡くなってしまう方も増大しかねません。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、高齢者の多くは、日々感染の恐怖を抱えながら生活しています。今政府がするべきは、安心して医療機関を受診できるようにすることです。政府は保険財政の困難を理由にしていますが、その根本には国庫負担割合の引き下げが大きく影響しており、880億円の国の負担で1割に据え置くことが可能です。これは国家予算の0.1%にもなりません。

以上の趣旨に基づき、以下の事項を陳情します。

1. 75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を2割にしないことを国に求める意見書を提出してください。

以上